

令和6年度 第1回さぬき市地域未来づくり会議 会議要旨

開催日時	令和6年5月21日（火）午後7時～午後8時40分
場 所	さぬき市役所附属棟 多目的室
出席者	[委員・コーディネーター] 計5名 折原委員、砂川委員（WEB）、長町委員、池田委員、黒川コーディネーター
	[事務局] 計4名 向井審議監 プロジェクト推進室：大山室長、原田室長補佐、谷本主査
欠席者	なし
傍聴者	1名
次第	1 開会 2 官民連携に関するホームページ制作について 3 その他 4 閉会
配布資料	次第
発言者	意見概要
座長	先月、市長へ昨年度の活動報告をしたが、認識としては、概ねその方向性で進めて良いという回答であり、考え方のずれという部分がなかったと認識している。実際やってみて反応を見てみるとか、その後どう考えていくか、というところがやはり重要だと思うので、今年度は考えるというよりは、実際にやりながら反応を見ていくというフェーズだと思っている。昨年度、他市の事例を聞く中で、実際にやってみたけれど難しいことがあるという話が結構多かった印象があるが、今回視察を行った先進自治体の事例は、実際にやってみて良かったという話であった。この会議で扱っていることが成功すると、最終的にこんなことまでできるというステップが見えたのが、今回の視察で良かったところだ。最終的にこういう方向性にもなるのだというイメージを持ちながら、今日の会議を進めていきたい。それでは、先般視察を行った三重県桑名市の取組状況について説明をお願いします。
事務局	5月15日に官民連携に関する視察ということで、三重県桑名市へ座長と訪問してきた。桑名市は、公民連携ワンストップ対応窓口である「コラボ・ラボ桑名」を創設しており、先進優良事例を紹介する自治体向けの冊子である「ジチタイワークス」の中で紹介されていた。桑名市が官民連携に取り組むこととなった背景には、地理的に名古屋市のベッドタウンとして発展をしてきた街であるが、少子高齢化による人口減少や社会保障費の増大、公共施設の老朽化といった様々な問題が山積している中で、100に近いほど自由に使える財源がないといわれる指標である経常収支比率が平成26年度には99.7%に達し、財政危機に落ち込んだことが大きなきっかけだったそうで、当時の市長の方針として、行政だけではなかなか立ち行かない状況に対して、民間との連携を積極的に取り入れ、持続可能なまちづくりを目

指すこととなったそう。具体的な取組としては、初めから難しいことに取り組んでもうまくいかないだろうということで、比較的取り組みやすい広告の事業提案やネーミングライツの募集といった、市の財政負担がなくても、市民生活の利便性の向上や財源の確保に繋がる事例を重ねてきたとのことであった。取組を始めると民間事業者からは、「どこに相談したら良いのか分からない」と言った声のほか、職員からは「理想の提案が得られない」といった様々な声が出る中で、平成28年10月に「コラボ・ラボ桑名」というワンストップ窓口を創設したとのことであった。当窓口では、テーマ型やフリー型の提案募集のほか、連携協定の受付け等も行っており、窓口開設の初年度は15件の提案であったものが、令和5年度は90件にまで増えており、窓口開設からこれまでに308件の提案に対して92件が実現しているそう。最も成果があるのがフリー型の提案であり、その一つとして、市が発行していたゴミの収集カレンダーに企業広告を入れることによって、150万円かかっていた費用が0円になったそう。また、サウンディング型市場調査の一つとして、市役所の駐車場について、これまでは維持管理の経費が年間250万円かかり赤字だったものが、市場調査を行った後にプロポーザルを実施し、民間事業者と契約したところ、120万円の黒字になったそう。このように官民連携の取組は大きな成果が出ているが、逆に課題としては、市だけでは発信力が乏しい点で、その解決策としては、国や県が主催するセミナーへの参加や国土交通省のプラットフォームを利用することで、市と民間事業者とのマッチングの機会を増やしているそう。桑名市からの助言としては、民間のスピード感に合わせた対応が必要だということで、年に1回の募集や審査ではなく、随時行うことが大事とのことであった。

座長

桑名市は名古屋市の経済圏であり、人口規模もさぬき市とは異なるが、抱えている課題は似ているところがある。例えば、民間事業者が何か提案したいが、どこの課に相談して良いか分からないことや、内部での連携ができていなかったことだ。ただ、今は「コラボ・ラボ桑名」を創設し、窓口を一本化することで、相談件数が増えるようになり、民間事業者との連携が形として根づいてきたそう。まずは、相談があれば対話をし、所管課で行うべきものについては伴走して進め、自走に導くようなイメージだ。また、提案型の条件として財政負担がないこととしている点が徳島市と同じであった。ちなみに、令和3年度の経常収支比率は85.8%となっている。最近の取組だと、温浴施設を民間事業者が建設し運営することで、年間35万人が利用しており、土地の貸付料と入湯税で1,700万円の収入があるとのことだ。また、市内の企業だろうと市外の企業だろうと、行政として良い提案であれば受け付ける基準だそう。ただ、いきなり大きな効果が期待できるわけではなく、ネーミングライツ等の話から始めているほか、民間事業者とのマッチングには、国交省のプラットフォームを活用することが重要とのことであった。印象的であったのは、公共施設利活用については、全施設を提案可能施設として対象としているところだ。例えば、使われている施設の中でもこの部分を使うことは出来ない

	かという提案で自動販売機を設置したケースもそうで、民間事業者が提案しやすい方法で募集をされている。今やろうとしているところは、この部分に近いと思う。あと、募集の形として、テーマ型が良いのか、フリー型が良いのかという議論はあるが、桑名市の場合はフリー型の方が相性は良い印象であった。ただ、ネーミングライツをテーマ型の募集として扱うことは出来ると思う。
事務局	市がお金を使ってでもやりたいことは、どちらかと言うとテーマ型になってくと思う。一方でフリー型というのは、どちらかと言うと財政負担がないものになると思う。
座長	桑名市に官民連携の取組を学ぶために鈴鹿市から出向してきている職員も同席していたが、鈴鹿市では官民連携の取組を始めたばかりとのことで、そのやり方としては、フリー型とテーマ型の間のようなもので、事前に庁内各課に今抱えている課題を聞き、とりまとめておいて、フリー型で募集し、提案内容によって課題とマッチさせていく方法だそうだ。
委員	桑名市は何名で対応しているのか。
座長	3～4人である。
委員	さぬき市の経常収支比率はどれくらいか。
事務局	96.4%である。
座長	今後の進め方として、事例を掲載して問い合わせ窓口を一本化した簡易なサイトを作成することは一つあると思う。それと並行して庁内各課の課題を集めることはしてみても良いのではないかと思う。
事務局	その前に、小さく始めて小さな成功を積み重ねていく方法として、やり易いネーミングライツから始めた方が良いのではないか。
座長	サイトの公開を夏に始めるとすれば、それまでにネーミングライツの募集を通年にして応募することはできるのか。テーマ型の一つとしてネーミングライツを募集し、合わせてこれまでのネーミングライツの事例を掲載できれば一番理想だ。
事務局	応募の可能性がある施設は、ある程度利用者が多い施設に限られてくると思われるが、あまり限定せずに施設一覧を掲載しておくことはできると思う。
座長	地域住民からの声は関係ないのか。

事務局	例えば、公民館に企業名が付く場合、利用者からは反発があるかもしれないので、募集する段階で地域住民との対話も含めた庁内調整については丁寧に進めることが必要だと思う。桑名市もネーミングライツの募集要項で対象外の施設を決めていたと思う。
座長	フリー型とテーマ型の募集とし、その一つにネーミングライツがあるという位置づけではどうか。ネーミングライツで応募がありそうな施設はあるか。
事務局	「へんろ資料館」は来場者が圧倒的に多い。他市では運動公園や橋、トイレなども行っている。
座長	トイレとかでも収入があれば良いと思う。対象施設は調べていただきたい。あと、通年募集については、桑名市の場合は3か月毎に締め切り、審査するスタイルであった。
事務局	通年募集しているネーミングライツの募集要綱は珍しいと思う。
座長	一回作っておけば、それをひな形にできると思う。ネーミングライツの話はまとめていただいて、サイト作成の話に入っていきたい。サイトを作るときに使いやすいツールはあるか。
委員	スタジオやノートがありどちらでも簡単に作ることができるが、民間事業者から見つけてもらいやすい方が良いと思う。基本的にさぬき市のホームページに掲載し、そこからサイトに飛んでいく流れになるのか。
座長	基本の流れはその形になると思う。「さぬき市 官民連携」で検索するとトップに表示にされるようなページが理想だと思う。そこに問い合わせの窓口やサイトのページが出てくると一番分かりやすい気がする。
委員	さぬき市のホームページの特設ページを作ることは難しいのか。
事務局	さぬき市のホームページ自体は近いうちに見直す可能性が高い。
座長	さぬき市のサイトだと事例集とかはPDFで添付している場合が多く、それよりは画像で見える形の方が良いと思う。
事務局	市のホームページにバナーを貼り付けて、ホームページがリニューアルされたら、バナーも移行して貼り付ければ良いと思う。

座長	先にサイトを作ることの良いか、それとも今後の運営体制の話をしておく方が良いのか。実際、この会議も任期としては２年間であと１年になるので、その期間中に応募のあったものを議論していくことはできる。
事務局	ネーミングライツはどうか。
座長	ネーミングライツは担当課になると思う。
事務局	フリー型で募集すればいろんな提案があり、可能性は広がっていくと思う。官民連携はすごく重要なことだと今回の視察で改めて感じている。特にさぬき市の場合は財政的にも非常に厳しいので、そこから脱却していくためには、やはり民間の力を借りることは大事だと思う。ただ、桑名市の場合は民間の力を借りて市を良くしていきたいという強い思いがあったが、さぬき市にはあんまりそういう文化がない。そういう意味からするとフリー型で意見を聞き、それがスムーズに実現できるかどうかという懸念もある。ただそれでは官民連携の第一目が出せないなので、一つでも実現できるようにしていくことが重要だと思う。
委員	大きなことを時間かけてやるよりは、小さなことを早く実現して実感を得てはどうか。
事務局	官民連携が良くて、他自治体でもうまくいっていると言ってもなかなかピンと来ない部分がある。行政は自分たちで予算を作って、事業をするものだということが当たり前の世界になっている部分もある中で、民間事業者が提案してくれて、何かをするというのは非常に珍しいことでもあるが、具体的なものを一つでも二つでも積み上げていき、そういう文化を作っていく必要があると思う。
座長	そうすると、まずは一旦反応を見てみることを優先する認識で良いのか。
事務局	ネーミングライツから始めるのが無難だと思う。
座長	ネーミングライツだけの募集サイトにすれば、それだけのサイトになってしまい今まで議論していた流れに合わないと思う。
事務局	何か提案したいことがあれば応募できるような形にすれば、結果的にフリー型となると思う。
座長	ネーミングライツの募集をしつつ、その他の提案はこちらからという形ではどうか。

事務局	その他の提案の中には連携協定等もあるということで構わないと思う。
座長	では、サイトを作っていきたいと思う。イメージは、かつて政策課が管理していた「源内の改革プロジェクト」のホームページだ。さぬき市のアカウントを作り、共同編集でメンバー入れて、作り終わったら権限を消してはどうか。
事務局	構成はどうするのか。
座長	写真以外はテンプレートがあるので、それを使うと簡単にできる。今回の話では、サイトに掲載する量もあまりないと思うのでそんなに時間はかからないと思う。
事務局	写真はどうするのか。
座長	写真と紹介文は必要となる。
事務局	次回までに紹介する文章を準備しておいた方が良いか。
座長	企業名と具体的な取組内容が分かれば良いと思う。
事務局	使用するツールはスタジオで、市で管理するアカウントも作っておく。
座長	次回の会議までに共有リンクを送っていただき、人数分の権限を付与するところまでしていただきたい。事例として掲載するのは、「ソフトバンク」、「松」、「じゃこ丸パーク津田」の最低でも３つはあると思う。
事務局	もう一つ載せるのであれば、「暮らしの便利書」の話も良いと思う。
座長	それは載せることとしたい。取組内容と企業名だけまとめていただきたい。細かいところで言うとサイト名は気にしなくて良いか。
委員	こだわった方が良くと思うが、全体像が見えていないから難しい。
委員	付けるのであれば４文字ぐらいが理想だと思う。さぬき市民の皆知っている名前にできれば良い。
座長	一旦は「官民連携ワンストップ窓口」としてはどうか。次に告知方法を議論したいが、市のホームページに掲載することが一つと、四国新聞に開設した時点で掲載していただくことをお願いしたい。あとは市の公式LINEがある。ダメ元でさぬき

	市が構わなければテレビ局へ一斉に送ることもできる。
事務局	市からもプレスリリースを出すことができるので両方からプレスリリースすることでより興味を引けると思う。
委員	「遊びの達人」のＰＣ版に関連リンク集があり、さぬき市の観光ガイドやその他ホームページ等のリンクが全てバナーで登録されているが追加できないか。
事務局	サイト管理者の了解があれば可能だと思う。
委員	事業主や企業の担当者に見てもらうことが重要だと思う。こういうサイトとかに常設しておくことと言ったコストがかからないものは全部やった方が良いと思う。また、経営者がどこに接点があるかと言うと銀行だと思うので、その窓口に貼らせてもらえると効果が高いと思う。
事務局	商工会の経営指導員が企業を巡回する際にも話をしてもらうこともできると思う。
座長	最近メディアもタ方のニュースの放送をＹｏｕｔｕｂｅにアップしてくれるので、そういうことも残る資産にはなれると思う。「さぬき市 官民連携」とかで検索するとヒットするようなタイトルをつけることを意識的に取り組むと上位に出てくようになると思う。県外でさぬき市に興味がある方にも広報することを考えたいので、普段生活している中で他の自治体とかの広報方法や手段で良いと思うものがあればグループで共有をお願いしたい。次回の協議内容を整理すると、広報は改めて考えることと、サイトのイメージを付けておくことをメンバーにはお願いしたい。さぬき市には、スタジオのアカウント開設とスタジオの操作権限をメールアドレスに付与していただくことと、サイトに事例を掲載する際の写真と企業名、取組内容をお願いしたい。あと、ネーミングライツの対象となる施設の一覧をまとめていただきたい。
事務局	了解した。
座長	今回それぞれにやってもらうことがたくさんあるので、１か月で大変かもしれないがよろしくお願いしたい。 以上で、本日の会議は終わりたいと思う。 ～閉会～